



東シナ海のたからのまち

阿久根市

企業版ふるさと納税



企業版ふるさと納税とは、阿久根市の地方創生に関する取り組みに対して、企業の皆さまが寄附を行った場合、寄附額の約9割の法人関係税を控除するものです。企業の皆さまとしては、法人税の高い軽減効果を受けられるほか、地域振興やSDGsの達成などの社会貢献に寄与できるメリットがあります。



軽減効果は…

最大約9割!!

損金算入 (国税+地方税)	税額控除 (法人住民税+法人税)	企業負担 (法人事業税)	
約3割	約4割	約2割	約1割

例えば100万円の寄附をいただいた場合、最大約90万円の税が軽減され、実質的な負担は約10万円になります。



阿久根市観光PRキャラクター
阿っくん

企業の
メリット

SDGs/ESG
への貢献

市HP等による
企業のPR

新たなパートナ
シップの構築

寄附の
要件

- 本社が阿久根市外にある企業さまが対象となります。
- 1回当たり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附を行うことの代償として、経済的な利益を受けることは禁止されています。
例：見返りとして補助金を受け取る / 寄附を行うことを入札参加要件とする

特に寄附を募集している事業

た

新 図 書 館 の 整 備

－ 創造性あふれるまちのシンボリックな図書館を－

現在の図書館は、昭和39年に開館以降、増改築を行いながら運営されてきました。しかしながら、老朽化等により、利用者に不便をきたしている状況です。

このことから、子どもから高齢者、障がいがある人など誰もが気軽に、そして居心地よく感じられる場所としてはもちろん、創造性にあふれた地域の知の拠点として、新たな図書館を整備します。



か

番所丘公園EVゴーカートの導入

－ 遊びに再生可能エネルギーを－



阿久根市では、公共施設に大規模な太陽光パネルと蓄電池を設置し、マイクログリッド網を構築しました。大型遊具、スケートパーク、全長約1.2kmのゴーカート場などがある多目的公園の番所丘公園にも、この設備により発電された再生可能エネルギー由来の電力が供給されています。近年注目を集める電気自動車（EV）によるレース「フォーミュラE」が日本で開催されることから、子どもたちの遊びの中に再生可能エネルギーを取り入れ、環境について考えるきっかけづくりとして、EVゴーカートを導入します。

ら

子どもたちへのきめ細かな療育

－ すべての子どもが生活の主人公に－

児童発達支援センター「こじか」では、支援が必要な未就学児に対して、基本的な生活習慣の自立を目指し療育がおこなわれています。

「こじか」は、阿久根市のみならず近隣市町の子どもたちも多く利用しており、個々の障がい特性に応じた療育支援の拡充が求められています。

子どもたちが遊び中で体の上手な使い方を育むことができる大型遊具などを整備します。



寄附をお願いします!!

お問合せ先

阿久根市役所 企画推進課 企画政策係
TEL 0996-73-1214 (直通) FAX 0996-72-2029
Mail kikaku@city.akune.kagoshima.jp

